

科目名	救急症候学			授業の種類	講義	講師名		
授業回数	23回	時間数	45時間 (3単位)	配当学年・時期	救急救命士科1年		必修・選択	必修
〔授業の目的・ねらい〕								
重要疾患を鑑別するための将校について理解し、観察、判断、処置などを中心に理解する。								
〔授業全体の内容の概要〕								
テキストに準じた講義。								
〔講師の実務経験〕								
〔授業終了時の達成課題(到達目標)〕								
各種疾患の症候・病態生理について理解し、症候・病態ごとの観察・評価・処置について理解する。習得した知識をシミュレーション実習で活かすことができる。								
回数	講義内容							
1	めまい							
2	"							
3	意識障害							
4	"							
5	失神							
6	"							
7	頭痛							
8	"							
9	運動麻痺							
10	"							
11	呼吸困難・呼吸不全							
12	"							
13	動悸							
14	痙攣							
15	"							
16	胸痛							
17	"							
18	腹痛							
19	"							
20	腰痛・背部痛							
21	吐血・下血							
22	喀血							
23	体温上昇							
定期筆記試験								
【 準備学習・時間外学習 】								
【 使用テキスト 】								
書籍名			著者名			出版社		
救急救命士標準テキスト下巻						へるす出版		
【 単位認定の方法及び基準(試験やレポート評価基準など) 】								
終講時試験。履修規定に準じる。								